

## 工業振興委員会 倶知安町との町内インフラ整備に係る意見交換会

日 時	令和 6 年 4 月 1 9 日 (金) 9時30分から11時00分まで
場 所	中小企業センター ホール
出席者	別紙の通り
概 要	別紙10項目について、意見交換をした。
内 容	<p>1. 開会 (事務局)</p> <p>2. 挨拶 (瀬尾委員長・文字町長)</p> <p>3. 意見交換 (進行: 福家統括監)</p> <p>①西 3 丁目通りの拡幅及び整備 ～まちづくり新幹線課西口主幹より説明～ (西口主幹)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和 5 年度駅周辺の関係で都市計画の変更を行っている。 今年の三月に西 3 丁目通り(生協横北 3 条～南 3 条間)の約500mの区間が新しく都市計画道路として決定した。</li><li>・それと反対に西 2 丁目通り(みまた横北 3 条～南 3 条間)の約500mを都市計画道路から廃止し西 3 丁目通りに振替をした。</li><li>・西 3 丁目道路は道路幅員16mで決定。(現状の道路より駅側に2m拡幅)駅前広場の整備時期などは道と調整しながら決めていく方針。 それによってJR、生協、道南バスと移転先について討議する。</li></ul> <p>③道道58号線跨線橋解体工事に伴う迂回路の安全確保</p> <p>⑥旭ヶ丘公園通りの改良整備 ～まちづくり新幹線課西口主幹より説明～ (西口主幹)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・跨線橋の解体工事については今年度から始まり、今年度は横の歩道橋の改造を行う予定。 工事に伴う通行止めは今年度は起こらない想定。来年より車両の通行止めを行う。 また車両通行止め期間中も歩道橋は使用できるようにする。</li><li>・迂回路として旭ヶ丘公園通りを使用予定。道との協議の末道路計画の中身について決定した。歩行者の安全確保に重きを置き要望をした。今年度で北3条通りくとさん橋～倶知安ニセコ線までの約870mの区間を1年間で北海道より道路改良をすると決定した。 車道を含め今までは路肩がほとんどなく、歩行者は車道を歩くしかなかったが改良後はニセコ酒造側に1.75mの路肩を設け反射板つきポールを夏の期間設置する。</li></ul> <p>⑤西10号琴平線の整備 ～まちづくり新幹線課西口主幹より説明～</p>

## 内 容

(西口主幹)

- ・引き続き整備を優先しなければならない道路と認識をしている。

都市計画道路の見直しを令和5年度より行っており都市計画道路としてか町道として整備するかは今後協議していく。

### ⑦旭ヶ丘総合公園の再整備

～まちづくり新幹線課西口主幹より説明～

(西口主幹)

- ・令和4年度より、旭ヶ丘公園の在り方の検討会を計8回開催しており、昨年、町民のワークショップを開催予定であったが他の課題等も出てきたため中学生、高校生よりアンケートを実施した。アンケートを参考にしながらほかの課題等を含め令和6年度にある程度まとめる方針。

### ②東1丁目通りの整備

～建設課菊田主幹より別紙資料に基づき説明～

(菊田主幹)

#### 【継続事業】

- ・東2丁目道路改良工事、西3丁目南通歩道造成工事については令和6年度完了予定
- ・東3号豊岡線道路改良工事については国道276号に向かって180m施工予定
- ・俱登山橋修繕工事については橋梁の修繕工事今年度完了予定。
- ・北7条通街路事業道路改良工事は一部引き続き行う。

#### 【新規事業】

- ・西1丁目南通1号道路改良工事はしばらく休止していたが今年度から再開した。120m程
- ・体育館通道路改良工事については歩行者スペースを確保し、S字カーブ部を直線化する。

#### 【その他】

- ・東1丁目通について、下水処理場～郵便局にかけて整備完了済。セイコーマート～北2条までは同じような整備はできるが、北2条～276号にかけては道幅が狭く、物件・用地保障で事業費がかかる。

### ④上水道の改良整備

～水道課滝上主幹より説明～

- ・水道工事は25億の事業規模(過去最高)中には昨年度からの2カ年での継続工事と今年度から複数年にわたる工事を予定している。
- 単年度の工事としては14本予定している。

#### 【複数年にわたる工事】

- ・新比羅夫浄水場(昨年度より継続、今年度完了)
- ・ニセコひらふ地区に関しては現在地域関係機関との調整中(今年度から複数年かけ実施)

#### 【単年度の工事】

- ・樺山の踏切を抜け国道5号に至る区間内の三か所において排水管の新設の工事。

## 内 容

- ・比羅夫中央公園前の通、町道ニセコ高原山田線における排水管の新設工事。
- ・その他老朽管の新設工事等を行う予定。
- ・水道本管の延長は3.3kmを予定、内2.4kmが山田地区。  
早期の工事発注を心がけ対応していく方針。

### ⑧町道大通羊蹄団地付近S字カーブの照明等交通安全設備の設置

～福家統括官より説明～

- ・町と町内会との協議の末、町の補助金を活用し町内会のほうで去年は3機の街路防犯灯を設置した。

### ⑨高齢者・子育て世帯・若年者住宅の整備促進のための町遊休地(廃坑跡地を含む)の活用

～福家統括官より説明～

- ・昨年子育て世帯を対象とし、南保育所跡地の7区画、白樺団地の1区画の分譲を行った。南保育所跡地の2区画については買主の事情により契約に至らなかった。現在その2区画について、前回応募をしていただいたが抽選に漏れた方に意向調査を実施し、現在15.6名からの申し込みがある。(再度抽選し分譲予定)
- ・高齢者住宅については国の補助金を活用し令和6年度より正式な協議ができる。整備にあたり一戸あたり180万円の補助がある。町では12戸分の2160万円を予算計上済
- ・若年者向け、従業員向けの住宅についてはPPPやPFIのスキームを活用し民と官の連携による整備を検討している。  
町としては民間が参入しやすい支援策を検討している。

### ⑩町有地の活用、住宅建設・住宅改修の助成制度

～建設課遠藤課長より説明～

- ・住宅の新築(倶知安型住宅)に関しての助成制度、7件640万円の予算計上。  
町内の建設会社で建設した場合は150万円、町外は50万円北方型住宅に認定された場合はプラスで50万円の助成。
- ・住宅の改修の助成については、バリアフリーの住宅改修、省エネに関する改修の補助金、定住化促進のための住宅リフォーム、耐久性向上のための住宅リフォーム。  
上記に関しては補助率10分の2、上限50万円という設定。  
延べ54件分、1360万円の予算計上。

意見交換内容

(瀬尾委員長)

- ・上水道の予算規模が大きくてよい。早期発注とともに早期の情報提供(工事内容等など)をしていくことができれば多岐にわたって迅速な対応が可能になる。
- ・住宅建設費用が、土地や資材の高騰によりものすごく高い。仮に80坪の建設をする

となると土地代含め5000万円かかる。若年者は銀行のローンなども通りづらい。個人の資産であることも踏まえると補助金を増やすわけにもいかない現状はわかるがこの先に向け定住者を増やさなければいけない観点から、なにか施策を練るべき。町としての現状の考えを聞かせていただきたい。

(遠藤課長)

- ・現状新築の際の助成制度で対応しているが、今後金額の増額などについても改めて考えなければならない。予算の兼ね合い等もあるが、今後検討調査をさせていただく。

(文字町長)

- ・住宅を建てるという部分で深刻化していると認識している。しかし、個人の資産になるという部分で倶知安町民の税金を投入しなければならないのでどこまで支援すべきなのか。検討する際どこの視点で検討すべきなのかが重要になる。お金の対象ではなくどのような考えをもって町が向き合っていくのか。また、統括的に見て町が成長するためにどこに重きを置くのか。内部連携を図り、皆様の意見、知見を借りながら整備していく。

(福家統括官)

- ・今年度の発注状況について、町では予定工事一覧をHPにて掲載している。しかし、HP上からその情報にたどり着くまでが多少煩雑であることから、後日資料を会議所へ提供し、会員へ周知していただくなどの対策を取る。

(文字町長)

- ・金融機関等との連携をし、引っ越しや、住み替え、移住などの手助けとなる情報などを総合的に発信していく。単にお金を出すということではない。他町村の例に習ってものすごい額の助成をしているだけでは倶知安町は破綻してしまう。今一度知恵を絞り総合的な観点で家を立てやすい環境を作っていくことが大切である。

(本田副会頭)

- ・倶知安型住宅の中身が現状に合っているのか。精査しなければならない。省エネや耐震化率を上げることによる国の補助などと組み合わせて使える倶知安型住宅の各年度毎のパッケージのようなものを設定し、さらにこれを使用することにより、金融機関の利率を下げるなど、各機関が連携していくとよいのでは。

(文字町長)

- ・今までも見直しをしてはいるが、進んでいないのも現状。具体的などころも含め新しい展開はできるのではないかと考えている。

(本田副会頭)

- ・坪単価も高く、ビルトインタイプの車庫が流行らない。家の前にカスケードガレージを設置する家がほとんど。それだと倶知安型住宅に当てはまらない。その見直しも検討していただきたい。

## 内 容

(宮崎専務理事)

近隣の町村の住宅建設における助成金の例について説明を行った。

- ・ 定住を見込んで移住した方の新築助成で100万円前後。
- ・ 条件なしの新築物件に100万円前後。
- ・ 中古の物件に助成を出してる町村もある。

(宮崎専務理事)

- ・ リフォーム助成金について今は4種類のメニューしかないが、10数年前にはリフォーム全般賄っていたはず。近隣町村の例を参考にしながら見直しをしていただきたい。

(白木会頭)

- ・ 上下水道の改良整備について時期が遅ければ遅れるほど工事も大変になると思うが現在の進捗状況をお聞きしたい。
- ・ 高速道路、ニセコ倶知安間の11.7km間が事業化になったことを受け、比羅夫インターができることで整備がされてくると思うが比羅夫インターの位置が冒険家族あたりだとしたら冒険家族が使用している町有地部分を道の駅や建設が増えることによる比羅夫エリアの交通渋滞に関して関係者をシャトルバスで送るなどの活用ができると思うが、現在の冒険家族との契約内容等について伺いたい。
- ・ 温浴施設に関して町としてホテルようていで運営、もしくは老朽化による設備改修費用の補助など対策を練ることは可能なのか。

(文字町長)

- ・ 上水道の関係、観光協会、エリアマネジメント、NPBから要望が上がってきており、説明会を開いた際も地域の方から意見をいただいている。これらの意見を反映し、見直しをしているため、決定となると工期が少し遅れる見込み。その辺も含め代替案を策定し説明する方針。当初の計画の段階で関係機関との協議が必要であった。
- ・ 比羅夫インターに関してはどこにできるのかはこれからになるので定かではない。
- ・ 冒険家族の契約については単年度契約ではあるが、いつまで貸すという契約はない将来的な話は冒険家族とおこなっていき、活用方法等について検討していく。

(福家統括官)

- ・ インターチェンジに関して開発で環境調査の実施をおこなっている。
- ・ 温浴施設について町が運営することは難しい。ホテルようていを活用するののも一つの案としているが、どのような支援をおこなえば民間企業に運営をしてもらえるか見つけ出していきたい。

(柳沢事務局長)

- ・ 東3号豊岡線の道路改良工事について三年目になると思うが、今年で終わりか。寒別橋付近まで続くのか。
- ・ 昨年JAの石造倉庫の取得を断念したことで、大きな建物を利用した新幹線駅周辺の賑わい

## 内 容

作りや交流は難しいと思うが、駅に隣接する都市施設や駅前通りを活用しながら小さな工夫を重ね賑わい作りや交流をしていかなければならない。

倶知安町で中心市街地活性化計画を新しく会議所と作成をしていただき、一緒に進めたい。

(菊田主幹)

- ・東3号豊岡線の道路改良工事については今後寒別橋へ向かって整備する予定  
寒別橋までは3～4年かかる見込み。

(西口主幹)

- ・中心市街地活性化についてまち会社と町が連携しどういったにぎわい作りができるかを視野にいれ検討していかなければならない。

(本田副会頭)

- ・跨線橋の廃止に伴う迂回路について生協より北側の琴平へ続く道のクランクになっている部分は工事車両も含め交通量が多く、小、中、高校生の通学路にもなっていることから安全性を考慮しなければならない。

また、クランクの部分にて、踏切の遮断機が下りた際想像以上に渋滞を起こしてしまう恐れがある非常に危険な地帯になってしまいますことが想定されるので対策を練ったほうが良い。また、金毘羅祭りが来年度以降メルヘン通りでは開催できなくなるので代替え地を考えていかなければならない。

- ・旭ヶ丘の検討について町民も多く訪れる場所であり非常に価値のある場所。  
できればアウトドア関係のワークショップを開催していただきたい。  
北海道でアウトドア事業をおこなっている者とお話をした際に協力をしていただけるとの事であった。旭丘の存在意義について擦り合わせができるためぜひ開催してほしい。

(福家統括官)

- ・踏切に関してはその通りである。国道5号線まで渋滞が起こる可能性もある。  
役場関係部署と話を進めていきたい。  
金毘羅に関しては今年度はメルヘン通りで開催ができる予定。

(福家統括官)

- ・旭ヶ丘の検討について、内部検討をこれからおこなっていくので提案していく。

(古谷委員)

- ・旭ヶ丘へ向かう道路について、ポールを立てるとのことだが、なぜ歩道を設置しないのか。

(西口主幹)

- ・歩道の代わりとなる段差のないものが路肩と言う。  
段差のない幅1.75mの歩道だと考えていただければ。

(古谷委員)

- ・町道だが、除雪は道がおこなうものか。

(西口主幹)

- ・道道倶知安ニセコ線の迂回路として今回臨時的に使う道路を道が整備することとなった。

除雪等については、今後継続して在り方について道と協議していく。

(栃木委員)

- ・最近の建設新聞の記事にてダイワハウスが北海道で建設する一戸建ては鉄骨から木造へ変えるという記事を見た。この地域では羊蹄カラムツというブランドの木があり他の地域よりも強度が高いのが特徴。倶知安町でも木造化を取り入れることができればよいのではないか。

(菅原副町長)

- ・町としても基本的には木材を使用したいが、大規模施設となると火災保険料が莫大になる。住宅に関しては、現段階で町としてかかわっているものはないが、情報を仕入れながら検討していく。

(瀬尾委員長)

- ・小学校の統合について、私が倶知安小学校へ通っていたころは6組あった。今年は新規入学者が1クラスしかなく30名を切っている状況。クラス替えもないこの状況でよいのか、考えをお聞かせ願いたい。

(文字町長)

- ・中学校が統合したので、次は小学校をとというテーマがあり、私が町長になる前から適正配置基本計画が出来上がっていた。実施計画に移る段階で町長が変わり、実施計画に入ってしまうと実施せざるを得ない状況となる。子供たちのクラスが増え、教員の数も確保できるなどの利点があったが、今後新幹線駅開業など様々な問題があり、どこに重点を置くか、お金だけではなく、労力やマンパワーを割く上で見直しをしなければならなかった。また、基本計画上では全4校から2校へ減らすとのことだったが、通学の不便さやコストを鑑み、早急に取り組む事案ではないとし、一時中断という形になった。今後駅周辺再整備関係の費用の目途が立った段階で適正配置について再度検討することとする。

(榊監事)

- ・建築に関して省エネ基準が2025年に法改正で変わることは決まっており、断熱性や一次エネルギーなども省エネにしなければなくなってくる。エネルギー環境ががらりと変わっていきお金のかかる建築になることは目に見えているので、そういった点も視野に入れながら対応していかなければならない。